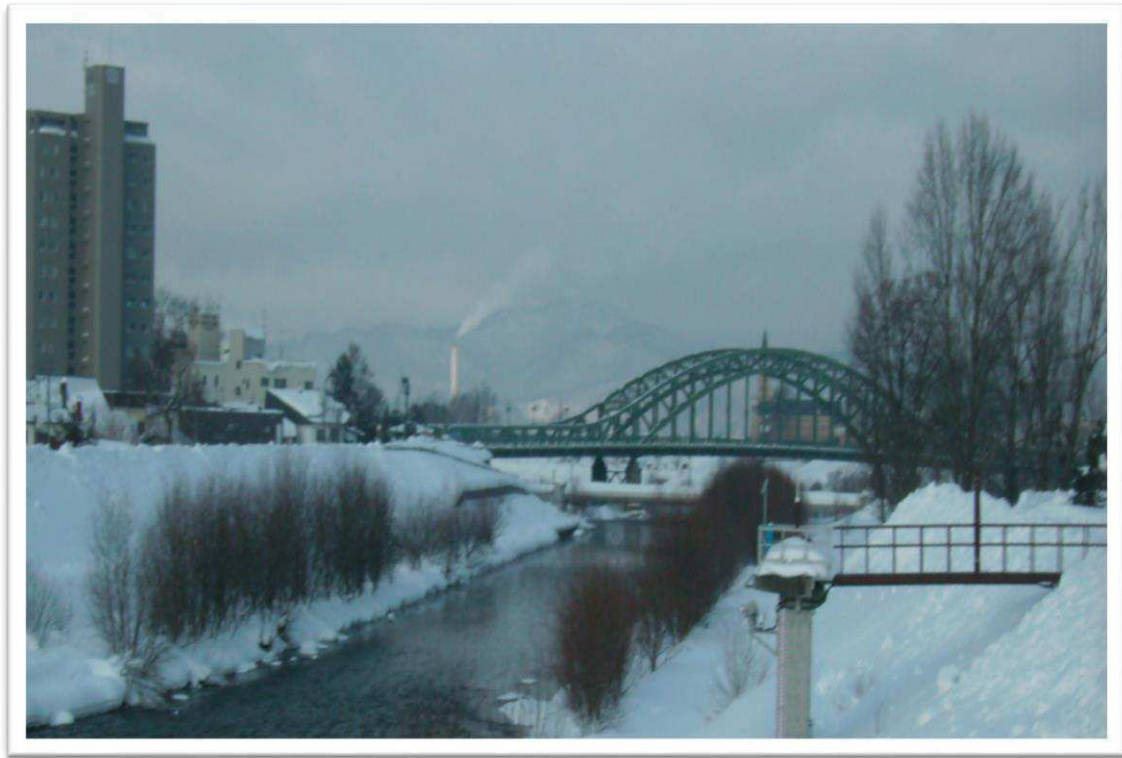


**2020年度**

**あさひかわオープンカレッジ連携講座**

**報 告 集**



一般社団法人旭川ウェルビーイング・コンソーシアム

共催：旭川市教育委員会

## 刊行にあたり

今年度も例年同様、関係者各位、講師を引受けてくださった先生方、参加してくださった受講生の皆様に深くお礼申し上げたい。

しかしながら、ご存知のように、今年は昨年までとは社会状況が一変してしまった。コロナ禍にあって、「あさひかわオープンカレッジ」のような幅広い年齢層を対象とした講座は開催に細心の注意が必要とされる。また、オンラインでの開講も検討すべきではあったが、情報インフラに関する事情から、こちらのほうは残念ながら選択の余地がなかった。それでも、第5回までを例年通り実施し、多数の参加者に来場いただいたことは計り知れない喜びである。

相変わらず危機的な状況は続いているものの、このような時代にあっても学びを止めることなく、今後とも幅広い層の人々に魅力的な講座を提供して行きたい。また、2020年末にかけての旭川市内における新型コロナウイルス感染者の急増を受けて、残念ながら次年度へ延期とした第6回についても、あらためて皆様のお越しを願っている。

北海道教育大学旭川校 教授 十枝内 康隆

# 目次

第1回「化学史はいかが？ ーノーベル賞科学者 F.ハーバーの栄光と影、そして北海道との縁」 旭川工業高等専門学校 教授 宮越 昭彦	… 2
第2回「データ科学入門 ～ AI、統計と数学 ～」 旭川医科大学 准教授 寺本 敬	… 4
第3回「広告のエモーショナル表現」 旭川大学 助教 田中 晃子	… 6
第4回「高齢者の咀嚼と嚥下について」 旭川大学短期大学部 教授 豊島 琴恵	… 8
第5回「環境倫理を考える ー私たちの生き方を変えるディープ・エコロジーの思想とは？」 元名寄市立大学 教授 白井 暢明	…10
「あさひかわオープンカレッジ」アンケート実施結果 サテライトキャンパス Uープラザ事務局	…13

# 「化学史はいかが？－ノーベル賞科学者 F.ハーバーの

## 栄光と影、そして北海道との縁」

2020年10月24日（土）13時～15時

旭川工業高等専門学校 教授 宮越 昭彦

日本の国民は欧米の人々に比べて、化学（科学）分野への関心が薄いとされている。とくに旭川は紙パルプや木工業が盛んな土地柄であるが、化学産業の拠点として発展した歴史がなく、参加者の方々に「化学の奥深さ」を伝えるには工夫が要ると感じられた。そこは北海道をキーワードにして、1人の化学者の生き様や、北海道に一時期根ざした世界規模の化学工場の変遷を紹介することで、参加者個々人に思いを馳せて頂き、最後に現在の化学（科学）的なトピックスを掲げた3部構成とした。

第1部は、触媒研究者として著名なドイツ人科学者F.ハーバーの生涯を取り上げ、周囲の人々を含めた人間ドラマとして解説した。聴講者に共感して頂くために、ハーバーと関わりの深い日本人や、第1次世界大戦から第2次世界大戦そして米ソの冷戦に至る歴史的流れを交えながら説明した。それと共に明治の時代にハーバーの叔父が函館で亡くなったことも追記した。第2部は、第1部からの連続性を考慮し、第2次大戦時に建設された滝川の北海道人造石油工場の歴史を取り上げた。敗戦せずに石炭採掘が続けば滝川市を中心に、北海道にも一大化学産業拠点が築けたはずである。こうした可能性の話と、歴史に翻弄された人々の思いを一つの郷土史として伝えることに意識した。第3部は最近の化学トピックを取り上げた。ちょうど総理大臣やアメリカ大統領の交代の折であり、温室効果ガス抑制に向けた日本や世界の動きについて環境政策面を中心に概説した。せっかくの機会であるので演者が取り組んでいるメタンガスからの水素製造の原理や研究成果についても披露した。

講演に参加した19名のうち18名からアンケートの回答を頂いた。参加者は50歳以上の方で占められ、70台以上の方が11名おられた。第1部、第2部で第2次世界大戦時の歴史背景を意識したのは、事前に参加者は年配の方が多いとの情報を得ており、戦時を具体的にイメージできる年齢層と、想定したことがある。ただ人間ドラマや歴史ドラマに焦点を当てたスライド構成にしたものの、化学の部分が前面に出ることで聴講時に“敬遠されるのでは”との懸念があった。幸いにも参加者の感想やご意見からは好意的な意見が寄せられ、「化学にはあまり接していないが・・・」、「後半は理解が困難でしたが・・・」等正直な思

いを記した上で、「大変勉強になった」、「とても良かった」、「とても分かりやすく面白かった」との意見を頂戴した。演者の不安部分（化学の話は“ウケる”のか）がある種の中しながらも総じて杞憂に終えたと判断される。当初の予想よりも化学に関心を持って頂けた部分と、演者自身の研究についても応援メッセージを頂き、これもまた有難く感じた。

当講演を終えて間もなく、新任の菅総理大臣から日本のエネルギー問題や水素社会への方向性、温室効果ガス抑制策の演説があったほか、バイデン大統領就任でも世界的気候変動を抑止するための政策がメディアで放映された。講演時に参加者に向けて「日本はこのような政策になる・・・」、「アメリカはトランプ政権時の環境政策とは真逆になる・・・」等“予言”したが、それに近い状況になったと自負している。おそらく聴講した方々には化学の視点で世界や日本の科学政策を理解して頂けたと共に、世界の潮流が変わりつつあることを深く実感されたと思われる。これを機会に化学にも新たな視点に関心を向けて頂けたら、演者としても我が意が伝わったと感じる次第である。



## 「データ科学入門 ～ AI、統計と数学 ～」

2020年11月9日(月)14時～16時  
旭川医科大学 准教授 寺本 敬

新型コロナウイルスだけではなく、2020年はAI(Artificial Intelligence、人工知能)に関するニュースを見聞きしない日はありませんでした。今回、AIをテーマとした講演依頼をいただき、数学的考え方に基づいた1つの見方について話をいたしました。AIとビッグデータによって、私たちの暮らしはさらに便利になっています。しかし、コンピュータ任せになってしまうことを心配されている方も多いと思います。その不安の1つは、AIの判断がブラックボックスであることでしょう。そこで「仕組み(アルゴリズム)を知ることで、AIへの不安を少しでも和らげたい」という主旨の講演を準備しました。仕組みも含めてブラックボックスというのと、仕組みは理解可能とした上で、AIの思考の中身がブラックボックスであるというのでは、AIへの接し方が変わることを期待しています。

AIとはアルゴリズムの集合体であって、アルゴリズムとは計算手順として、入力 $X$ と出力 $Y$ とを結ぶ計算式 $Y=F(X)$ で表すことができます。ですから、AIの仕組みは単純な計算式(コンピュータでの手続き)の1つ1つに分解できます。そして、数学的な考え方のなかでも確率論とデータによる学習に基づくアルゴリズムを用いることがAIの特徴です。そこで講演では、第2次大戦後のコンピュータの登場に始まるAIの歴史に先立って、産業革命前後の確率論と統計学の歴史にさかのぼって話を始めました。そして、確率の数学から機械学習による予測、そして人間の脳を模したニューラルネットワーク(神経回路)の仕組みを紹介しました。その構造は、入力層と出力層との間に隠れ層と呼ばれる中間層から成ります。AIソフト「アルファ碁」によるプロ棋士撃破等、2010年代のAIブームを牽引したディープラーニング(深層学習)は、この中間層の数を増やし( $Y=F_1(F_2(F_3(\dots F_n(X))))$ )、複雑な知的機能を実用的な精度で実現しました。基本的なアイデアは1980年代までに提案されていました。その後、コンピュータの処理速度と通信容量が飛躍的に向上し、そしてインターネットの登場によって集まったビッグデータを高速に処理するコンピュータが広く普及したことがブームの背景にあります。画像・音声認識の精度は人間の能力を既に超え、翻訳・自然言語処理についても著しく進歩しています。ルールとデータが明確な分野への限定的な応用はどんどん進むでしょうから「AIのアドバイスをもとに人間が最終判断する」というスタンスで、恐れすぎず、期



待しすぎずに利活用していきましょう。AI による恩恵は時間の節約にあるといわれます。

AI のアルゴリズムと、それを処理するコンピュータ環境は整ってきましたが、肝心なのは学習させるデータです。GAF A 等の巨大 IT 企業、国家を中心に、世界中が質のよいビッグデータの収集に躍起になっています。偏った悪いデータで学んだ AI は役に立たないばかりか、それが世界中に広がれば深刻な影響をもたらすでしょう。ですから、AI の基礎知識を身に付けた市民 1 人 1 人が見守り、自分自身もアップデートし続けることが理想です。日本政府も新しいデジタル社会における基礎的素養として、「データ科学」を文系理系に関わらずに学ぶという戦略目標を立て、小学校ではプログラミング教育も新しく始めました。「脳」を模した AI の得意分野は「知識」の記憶と適切な答えを導く「知能」です。それに対して、人間には「知恵」と「意識」とに基づいて答えを探求する「知性」があります。これらの人間らしさを育んだのは、家族や友だち、学校の先生、地域の方々が、子供たち 1 人 1 人を「心」あるものとして接してきた生活です。AI に対しても、私たちの社会において AI がよき隣人となるかどうかは、私たちがどのように接して暮らすかに依るのではないのでしょうか。

コロナ禍にも関わらず、熱心に参加してくださった方々からは様々な視点からの質問をいただきました。一般市民の皆様にお話できる貴重な機会をいただきましたことに感謝しています。



# 「広告のエモーショナル表現」

2020年11月14日（土）13時～15時  
旭川大学 助教 田中 晃子

## 1. はじめに

「エモーショナル」とは感情的な様子を意味することばです。現在、企業は広告にエモーショナル表現を用いることで消費者へ強い印象を与えています。本講座では、実際に放映されていたCMを事例に挙げ、どのような仕組みで私たち消費者の心が動かされているのかを考えました。

## 2. 広告・販促：Promotion

マーケティングの基礎的な概念として4つのPがあります。製品(Product)、価格(Price)、広告・販促(Promotion)、チャネル(Place)、この4つを効果的に結びつけることがマーケティングにおいて重要であるというものです。マッカーシーが提唱しました。今回は、4つのPの中でも、広告・販促(Promotion)に焦点を当てました。

電通(2019)「日本の広告費」を参照し、現在広告において最も代表的なものがインターネットCMとテレビCMであることを紹介しました。

## 3. さまざまな広告表現

北海道ローカルCMを中心に、実際に放映されていたCMを見てもらいました。企業には目的があり、その目的に合わせたCMを制作しています。製品の機能を伝えたいのか、製品を認知してもらいたいのか、企業の社会的役割を理解してもらいたいのか、多様な「狙い」があるわけです。

## 4. 広告のエモーショナル表現

消費者へより強い印象を与えるために、広告にエモーショナル表現が使われています。このパートでも、実際に放映されていたCMを見てもらい、解釈を試みてもらいました。

消費者は、企業が発信するエモーショナルな物語によって、自らの人生との関連をブランドに見出します。企業は、消費者の心理的な動きを巧みに利用しています。現在、広告コミュニケーションの中核をエモーショナルな広告表現が担うようになっています。



## 5. グループワーク

理解を深めるために、グループでCMの解釈に挑戦してもらいました。事例は、東京ガス（2016）「夢を叶えるカツカレー」篇です。エモーショナル表現の観点から、どのように工夫がしてあるか読解するという課題を提示しました。

## 6. おわりに

受講者の中に、自治体職員の方がいました。「『プロモーションに活用できるかもしれない』と思って受講を決めました」と話してくれました。あさひかわオープンカレッジは、「ともに地域の課題を考え、地域づくりに取り組む契機となる」ことを目的の1つとしています。本講座のテーマは、直接的に地域と関わるものではありませんでしたが、受講者各々のフィールドで今回得た知識を活かしてもらえたら嬉しく思います。

年齢や性別、職業など、属性の異なる市民の方々が活発に意見を交換する様子を見て、「旭川はいい街だ」と感じました。



## 「高齢者の咀嚼と嚥下について」

2020年11月21日（土）13時～15時  
旭川大学短期大学部 教授 豊島 琴恵

- ① 栄養摂取状況の変化と現状
  - \*日本の平均寿命・健康寿命の推移と現状をグラフを示しながら説明
  - \*生活習慣病の原因を伝え、3大疾病（サイレントキラー）の性および年齢別罹患状況をグラフで示す
  - \*加齢に伴う健康障がい
  - \*2025年問題とは
  - \*上川の高齢者率および摂食嚥下障害者の推計
  - \*摂食嚥下障害になると低栄養につながり負の連鎖が生じる
  - \*フレイルとは・フレイルドミノを起こさないことが重要
  - \*そのために栄養・身体機能・社会参加が重要
  
- ② 高齢者に必要な栄養  
適度なエネルギー・脂質・良質タンパク質・ビタミン・食物繊維・ミネラル
  
- ③ 高齢者の咀嚼と嚥下について、状況と留意点
  - \*\*咀嚼についてを体験1
    - ・自分のご飯を何回噛んでいるのか？・口腔内の動きの確認
  - \*咀嚼行動の重要性・認知との関係
  - \*\*嚥下について体験2
    - ・水を飲み込む際に飲み込みが難しいと感じる態勢、口腔状態かを体感する
  
- ④ 食事の仕方をどのように意識したらよいか
  - \*食べ難い食べ物は何か、どのように食形態を変えると食べやすくなるのか
  - \*咀嚼嚥下に配慮した食事、姿勢、運動、歯の機能を考える
- 旭川市永山地域の有料老人ホームにおける低栄養調査（MNA）の報告
  - ➔19施設402名を対象 2人に1名が認知症であり、低栄養者が14%・リスクあり者が55%を占め、有料老人ホーム入所者の低栄養状況が明らかとなった

- 高齢者個々人の状態に合わせて食事の形態を考える必要がある
  - ➔旭川市まちづくり協働事業・「口から始める食べ方支援事業」もがなの紹介
  - 嚥下ピラミッドについて
  - \*\*段階食の試食
  - ・ ・咀嚼嚥下機能に合わせた硬さ・なめらかさを調整した食の試食



## 「環境倫理を考えるー私たちの生き方を変える

### ディープ・エコロジーの思想とは？」

2020年11月26日（木）14時～16時

元名寄市立大学 教授 白井 暢明

【旭川ウェルビーイング・コンソーシアム教育コーディネーター】

「エコロジー」とは、「地球という家で生活を共にするあらゆる構成員の相互関係を調べること」である。このエコロジーの考え方が成立する発端となったのは、近代科学技術による環境破壊の意識の高まり、そして、レイチェル・カーソンの著書『沈黙の春』（1964）である。これは、人間の利己的欲望による農薬や殺虫剤の使用が自然界のバランスと環境を破壊していることに警鐘を発するものであった。

その後、ノルウェーの哲学者、アルネ・ネスは、従来のエコロジーをシャロウ（浅い）なものとし、新たにディープ（深い）・エコロジーを提唱した。その特徴は、①人間中心主義（人間・社会にとって有意義かどうかを考える）から生物圏平等主義（生態系全体の利益を考える）へ、②経済成長と環境保全は両立不可能であると考え、③エコロジーは知識と技術の問題ではなく、哲学（生き方）の問題と考えることである。

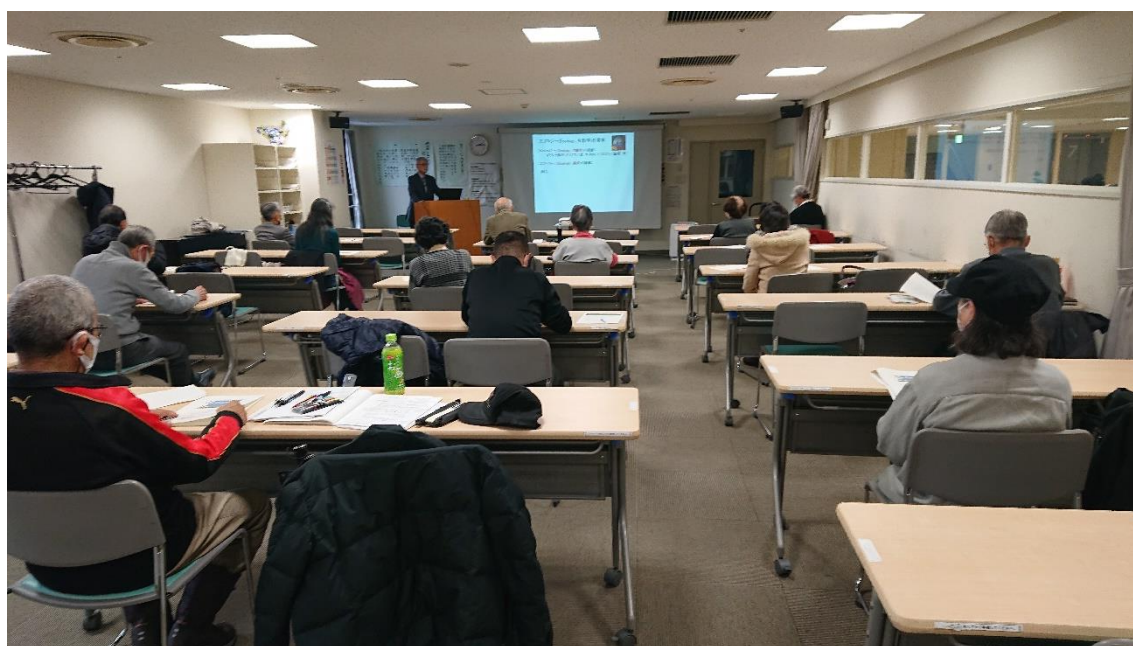
ここから、ディープ・エコロジー的な考え方のキーワードとして、次の8原則が提唱される（F・カブラ）、即ち、①「相互依存」、②「持続可能性」、③「生態学的循環」、④「エネルギーの流れ」、⑤「パートナーシップ」、⑥「柔軟性とゆらぎ」、⑦「多様性」、⑧「共進化」である。

また、A・レオポルドの「土地倫理」は、次のように語る、「人間が一方的に土地を利用し、支配することは不当であり、土地の側にも権利を認めなければならない。土地は今では人間の所有物であるが、本当は所有物ではない。人間が自由に処分したり、廃棄したり、利用したりする物件ではない。ここでいう「土地」とは「生態系」であり、土壌、水、植物、動物を含む「生命共同体」である」と。

更に、ディープ・エコロジーの思想は、現代の市場経済システム、特にその「グローバリズム」と「経済成長至上主義」が孕む根本的な問題性を指摘する。これらは、人々の限りない欲望を基盤に成り立っており、それ自体の内部には長期的、地球的視野に立ってそれをコントロールする仕組みが欠如している。

従ってそれは地球資源の限界を超え、更に「財の分配の不平等性」も深刻化させており、現在のコロナ禍もこれと無関係ではない。

それでは、こうしたディープ・エコロジーの思想に基づいて私たちにいま求められるものは何か？まず第一に、「人間は自然の一部であること」を自覚し、現在の私たちの生活様式、つまり大量生産・大量消費（CO<sub>2</sub>の大量放出による地球温暖化の原因）の経済システムから抜け出すことが必要である。一人ひとりが持続可能な必要最小限の生産と消費、つまり「過剰な欲望」の抑制に向けて舵を向け直さなければならない。そして第二に、そのためにも私たちが「人間の本当の幸せとはなにか？」という最も基本的な哲学的問いに立ち返ることである。





## 「あさひかわオープンカレッジ」アンケート実施結果

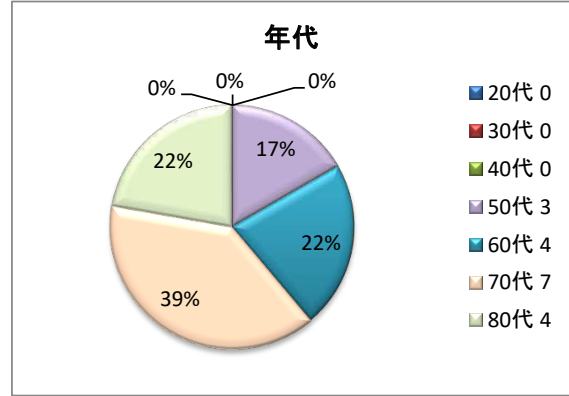
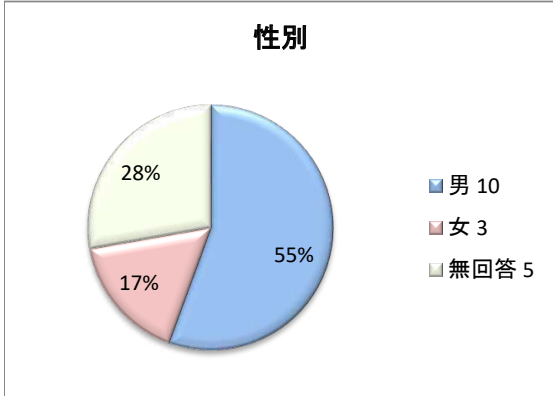


旭川ウェルビーイング・コンソーシアム「あさひかわオープンカレッジ」

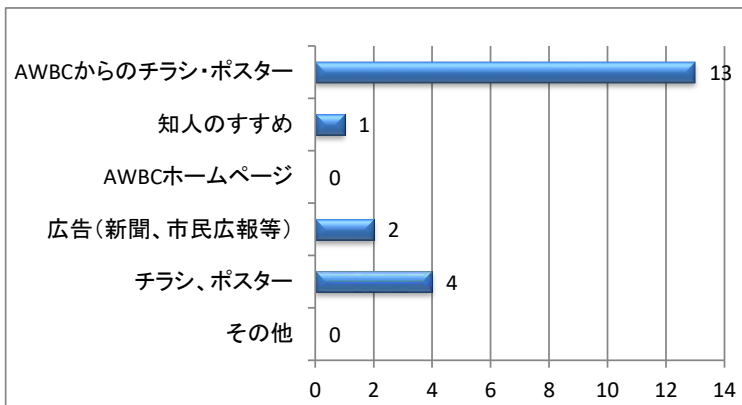
①「化学史はいかが？-ノーベル賞科学者F.ハーバーの栄光と影、そして北海道との縁-」（10/24開催）アンケート結果

受講生 19名      回答者 18名  
 回答率 95%

問1. あなたのことを教えてください。



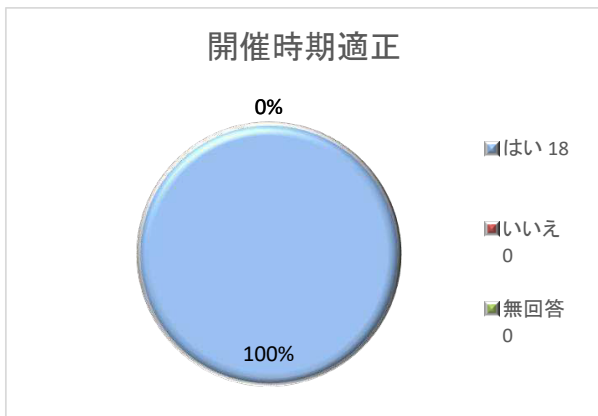
問2. 本講座の開催はどのようにして知りましたか。（複数回答可）



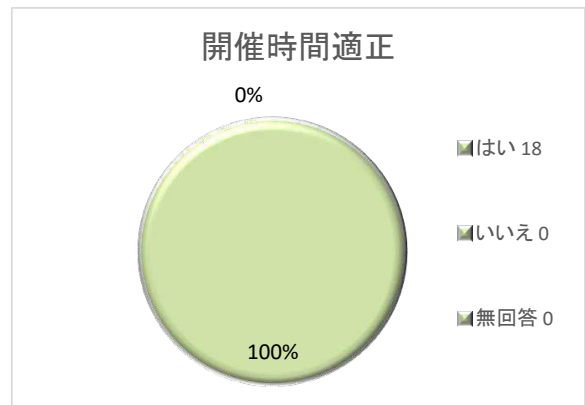
【備考】

- Oakar i
- 北海道経済
- 市役所
- イトーヨーカドー
- フィール旭川7階ポスター

問3. 開催時期は適切ですか。



問4. 開催時間は適切ですか。



**問5. 今後希望する講座のテーマをお書きください。**

- ブラックホールの謎
- 持続可能な社会とするための「経済学」の基礎
- 天文、物理、数学をテーマにした講座
- 時局講演会
- 初歩の化学
- 生化学関連
- 旭川の歴史
- 健康維持
- 健康食品等の問題
- 旭川の観光客誘致の具体方策
- 予防医学

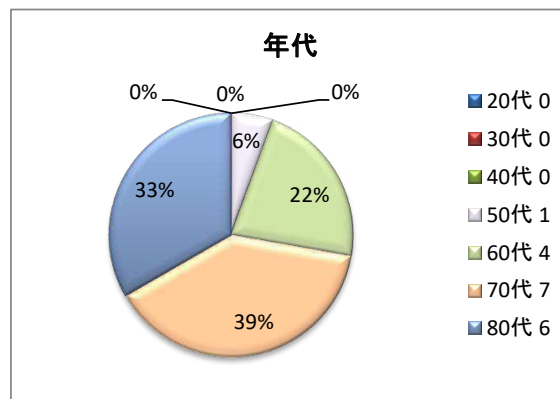
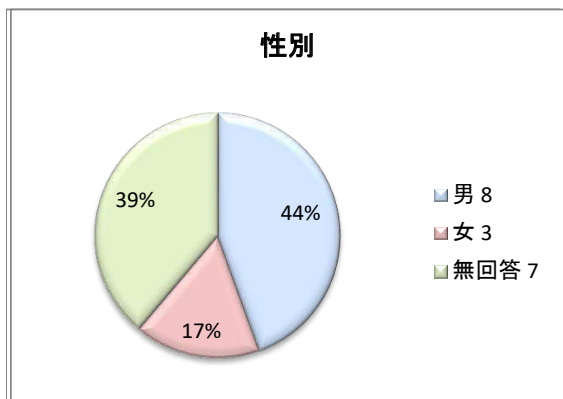
**問6. その他ご感想、ご意見、ご要望があればお書き下さい。**

- 発明(触媒)品が実用化されればいいですね
- お話がとてもわかりやすく面白かった。後半は理解が困難でしたが、直近の菅総理の話から今後の日本の方向性も教えていただき、大変勉強になりました
- 日常、化学にはあまり接していないがとても刺激的でした。高度な内容でしたが…
- 久々に化学の触媒の概要をお教えいただき歴史的経緯を学ばせていただきました。宮城教授の研究の発展をお祈り申し上げます
- 50年程前、排気ガスマフラーを製造(倉庫内のフォークリフトに多く使われた)した会社にいたが、赤字続きで中止となった
- とても役に立った。化学が好きなのでとても良かった。世の中の動きもわかりました
- 関心を持たないと知らない事はたくさんありますが、ひとつ学ぶことができました

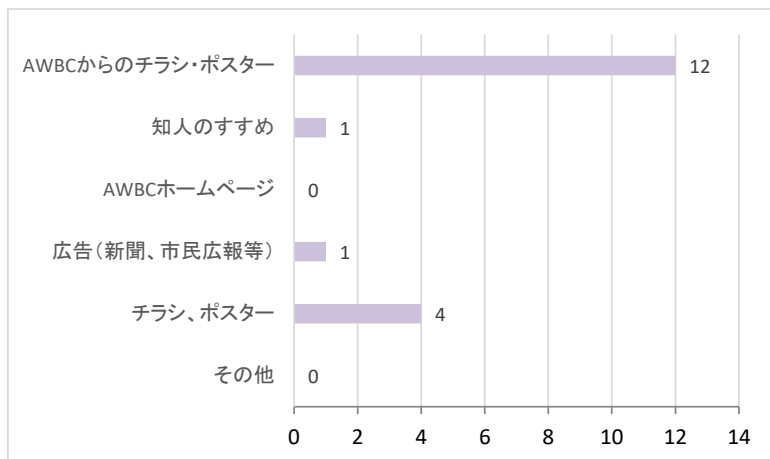
旭川ウェルビーイング・コンソーシアム「あさひかわオープンカレッジ」  
 ②「データ科学入門—AI、統計と数学—」（11/9開催）アンケート結果

受講生 18名      回答者 18名  
 回答率 100%

問1. あなたのことを教えてください。



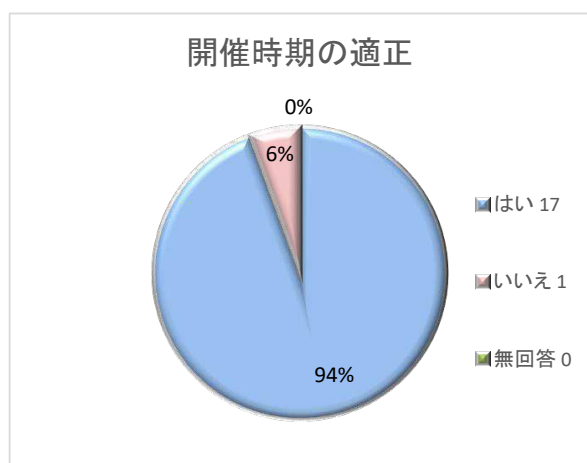
問2. 本講座の開催はどのようにして知りましたか。（複数回答可）



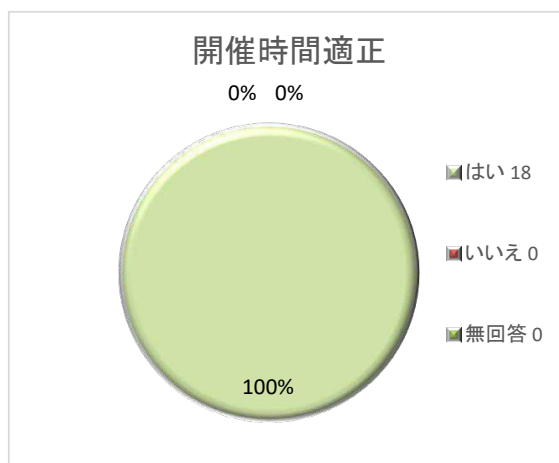
【備考】

○市役所  
 ○イトーヨーカドー

問3. 開催時期は適切ですか。



問4. 開催時間は適切ですか。



○いいえ（積雪の無い時期）

**問5. 今後希望する講座のテーマをお書きください。**

- 人文科学分野領域の講義
- 写真の撮り方
- 予防医学
- 道北圏域のまちづくり。コロナ禍後の世界
- 「5G」の次について
- 遺伝子やゲノム

○川村カネトアイヌ記念館副館長川村久恵氏の講話。「上川（近文）アイヌの文化と歴史について」

**問6. その他ご感想、ご意見、ご要望があればお書き下さい。**

- AI学の今後を俯瞰させていただいた御講義ありがとうございます。寺本敬先生のますますのご発展を祈ります
- 非常に楽しい講義でした。レジュメ1枚で深みのある内容でした
- 数学に弱い私として理解できないところもあり、ふだんの勉強不足が身にしみています

○ちょっと難しかったです。大事なことを教えていただきありがとうございました。今後はより多くの情報（理性とか道徳的なことも）が統計に組み入れられて、より正確な判断がされる世の中になることを望みます。60才を過ぎると新しいことを覚えるのが困難となると実感してきましたので、自動運転の車や各種機械の自動化は命や財産に関わるリスクもあると思うので、より単純化してもらおうとともに、シニア世代もよく学習していくことが必要だと感じました

○スクリーンに先生が写って画面が見えづらくなったので、棒のようなものを使って指すのが良いのでは

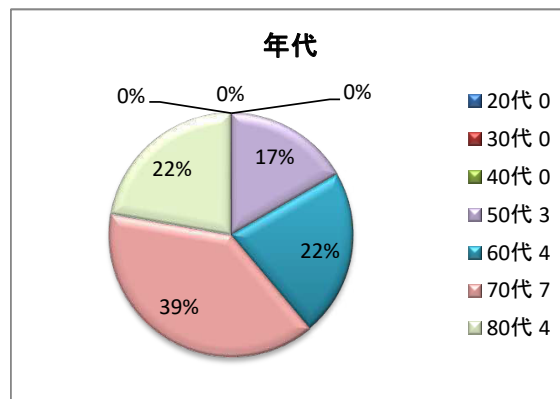
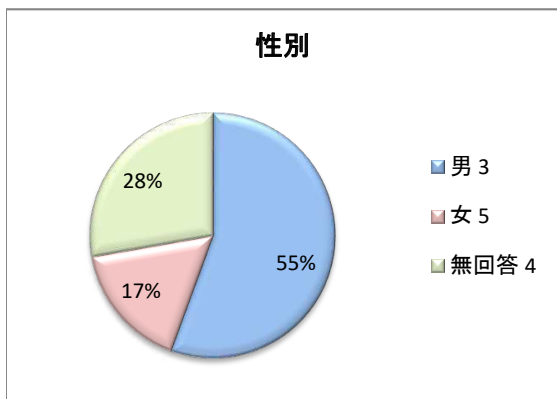
○人工知能とビックデータによって私たちの暮らしは便利になりましたということですが、本当に便利になったのでしょうか。「人間」はアナログ思考で行動（生活）するから、デジタル思考で動く人工知能（AI）は人間の暮らしの役に立たないのではありませんか。アナログ思考で動く人工知能（AI）なら役に立つようになると思います。「人間」は確率で生活しているのではないのですから

○とても役に立ちました。身近にこんな先生のお話しが聞け、これからも意識して見ていきたいと思えます

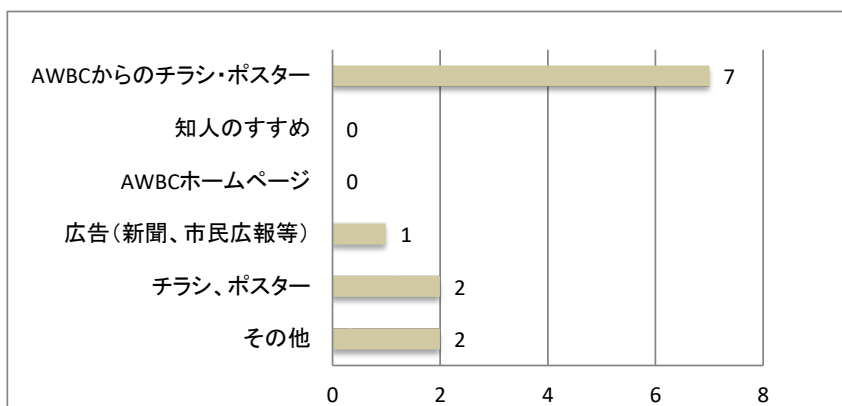
旭川ウェルビーイング・コンソーシアム「あさひかわオープンカレッジ」  
 ③「広告のエモーショナルな表現」（11/14開催）アンケート結果

受講生 12名      回答者 12名  
 回答率 100%

問1. あなたのことを教えてください。



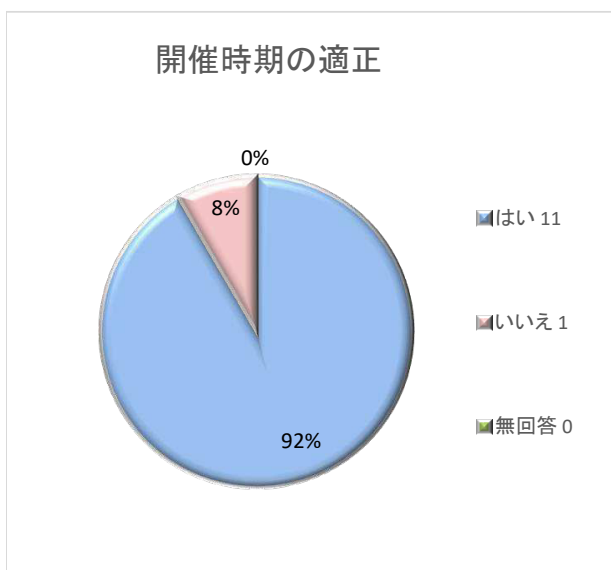
問2. 本講座の開催はどのようにして知りましたか。（複数回答可）



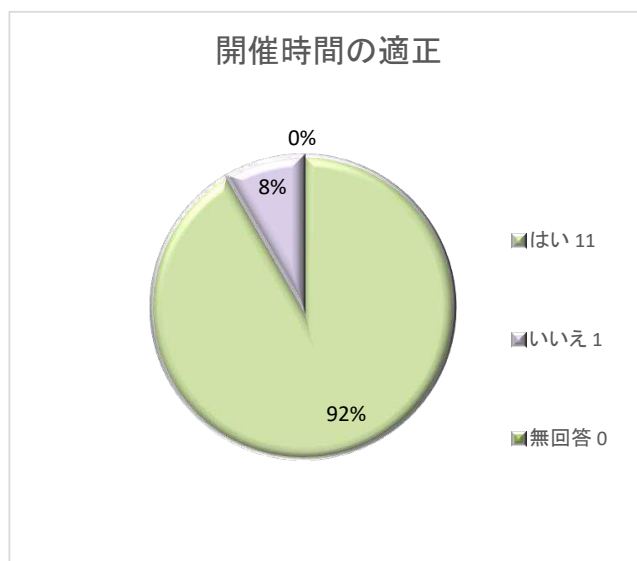
【備考】

- イトーヨーカドー
- まなびネットあさひかわ
- あさひばし
- 市役所
- 道民カレッジHP

問3. 開催時期は適切ですか。



問4. 開催時間は適切ですか。



○寒い時期だと自転車で来れないので早めに（9・10月）

○昼食後だと間に合わないの14時ころがよい

**問5. 今後希望する講座のテーマをお書きください。**

- 遺伝子、ゲノム編集
- デザインに関する講座
- 高齢者の食事観(健康食品の功罪)
- エモーショナル表現方法を部位別に分けて教える講座
- 上川アイヌの歴史、文化(川村カ子とアイヌ記念館副館長 川村久恵氏)
- 日常とリンクする内容、スキルアップできる講座
- 言語学

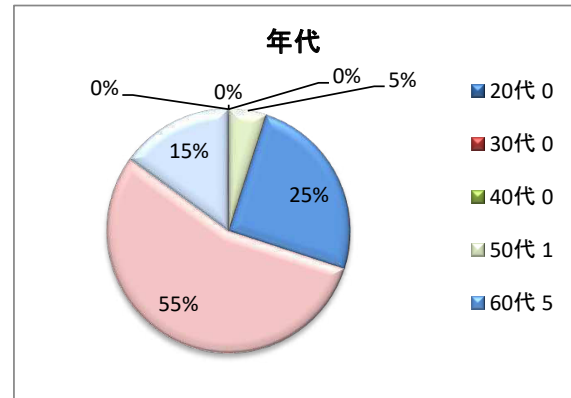
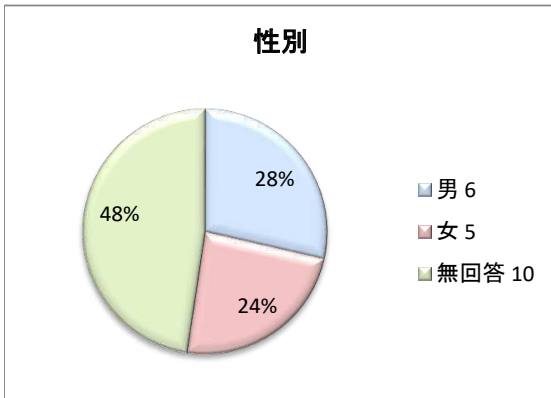
**問6. その他ご感想、ご意見、ご要望があればお書き下さい。**

- 参加者の声が聞いてよかった(グループワーク)
  - グループワークが新鮮だった。皆さんがいろいろな考えを持っていることがわかり良かった
  - 廊下の雑音が大きくて残念だった
- どのように表現するか、どのように広めるかはどの場所においても必要なスキルである。企業にとっては死活問題である。国や自治体も同様な状態といえる。短い中でも大変勉強になりました。人によって感じ方も(グループワーク)様々でした

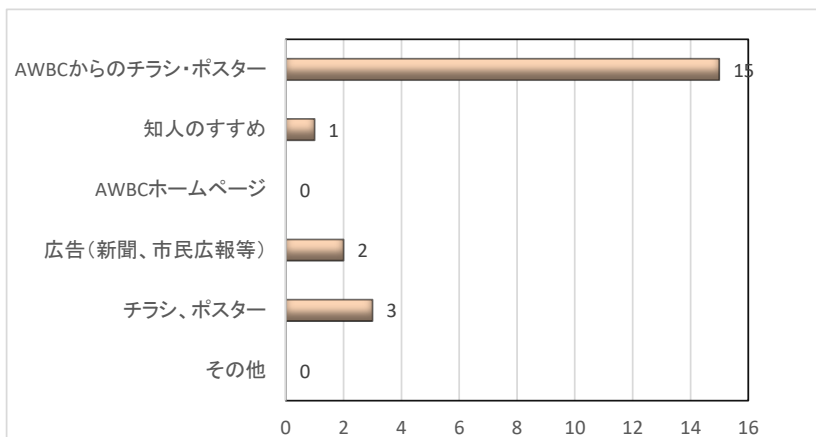
旭川ウェルビーイング・コンソーシアム「あさひかわオープンカレッジ」  
 ④「高齢者の咀嚼と嚥下について」（11/21開催）アンケート結果

受講生 23名      回答者 21名  
 回答率 91%

問1. あなたのことを教えてください。



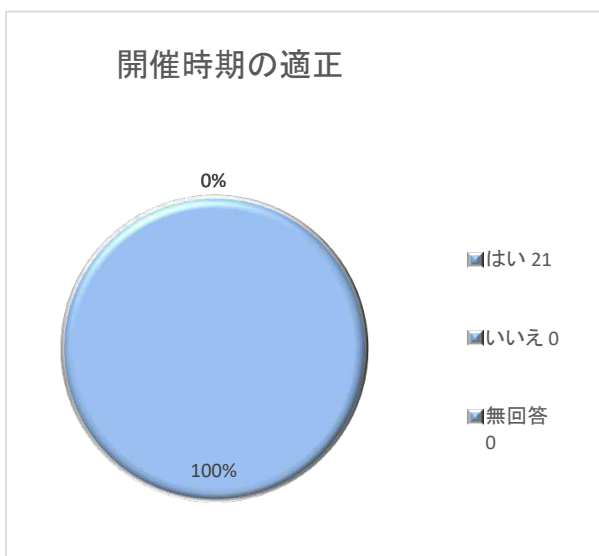
問2. 本講座の開催はどのようにして知りましたか。（複数回答可）



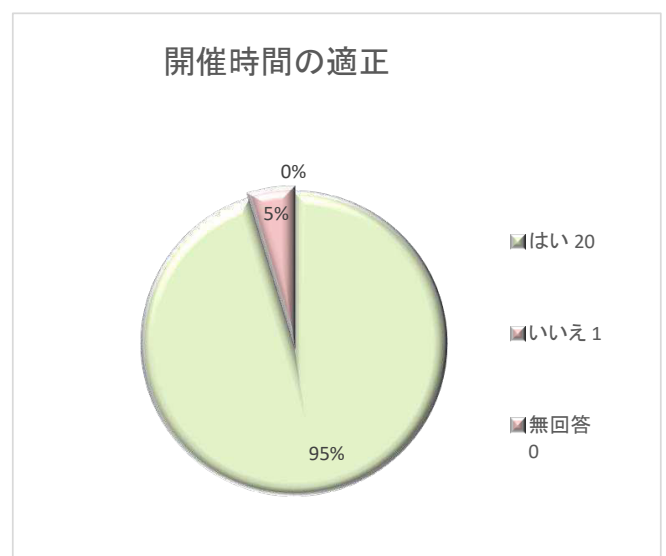
【備考】

- イトーヨーカドー
- 神楽支所

問3. 開催時期は適切ですか。



問4. 開催時間は適切ですか。



○9時から



**問5. 今後希望する講座のテーマをお書きください。**

- 靴の選び方、正しい歩き方
- 地球温暖化と環境問題について
- 腰痛について
- 政局の話
- シニア世代の健康についてのセミナー(食事方法)

**問6. その他ご感想、ご意見、ご要望があればお書き下さい。**

- 咀嚼・嚥下対策の難しさは良く理解できたのですが、具体的な防止策は不可能なのでしょうか
- とても参考になり、実際の食の兵隊を食する体験が出来とても良かったです。また、今後の高齢化に向け、まさに、必要なテーマで大変参考になりました
- 施設に入居すると健康に戻るのが難しいと感じた
- 咀嚼の重要性がわかり、日々意識した食事を心がけたいです。食べることは一番身近なことなので、楽しく学びました
- 今回も有意義でした。貴重な資料ありがとうございました。特に実習(実食)もあったので、理解しやすかった
- 今回も「もがな」段階食の体験をさせていただきありがとうございます
- 数年前の夫の介護を思い出しました
- 時間の厳守(バス時間)、教育内容の厳選
- 午後の時間帯は出かけやすくて良い
- 本日の食育講義頗る勉強になりました。本当にありがとうございました。スタッフの皆様のご苦勞に感謝いたします。
- いろいろな準備ありがとうございます。初めての段階食でした

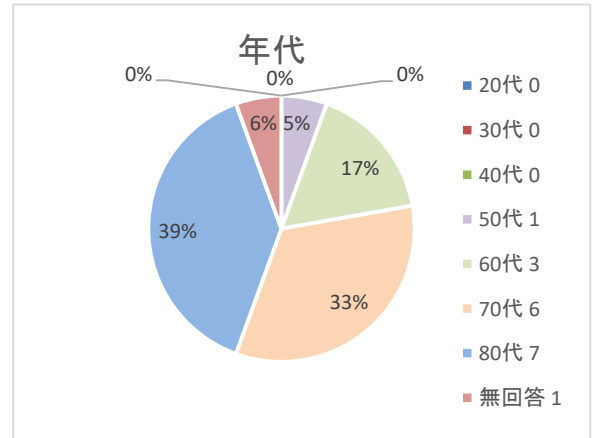
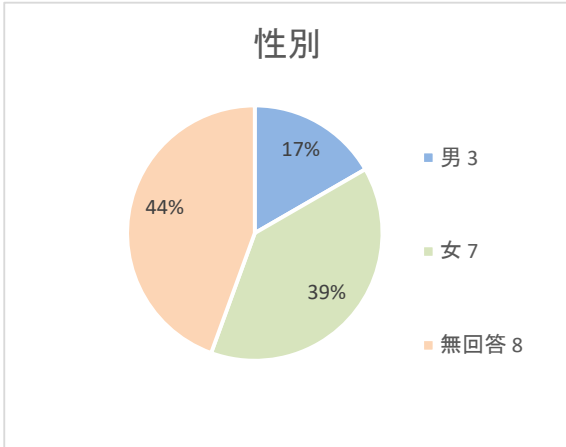
旭川ウェルビーイング・コンソーシアム「あさひかわオープンカレッジ」

⑤「環境倫理を考えるーディープ・エコロジーとはー？」（11/26開催）アンケート結果

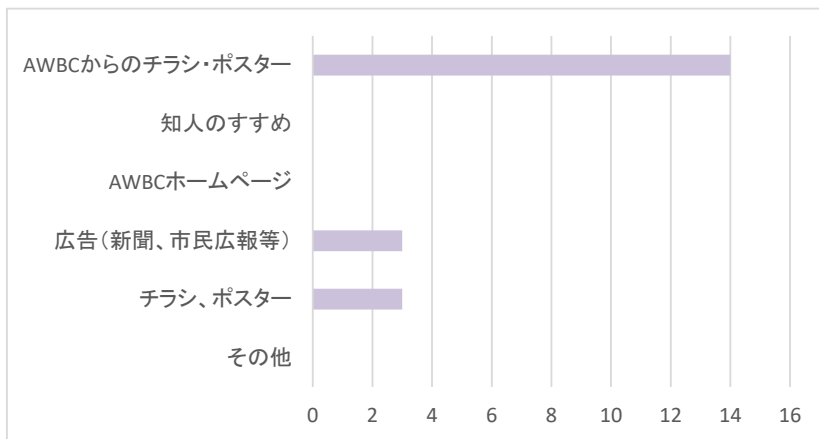
受講生 19名

回答者 18名  
回答率 95%

問1. あなたのことを教えてください。



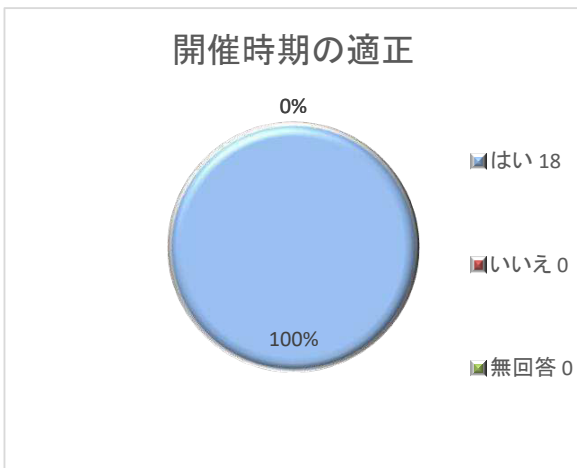
問2. 本講座の開催はどのようにして知りましたか。（複数回答可）



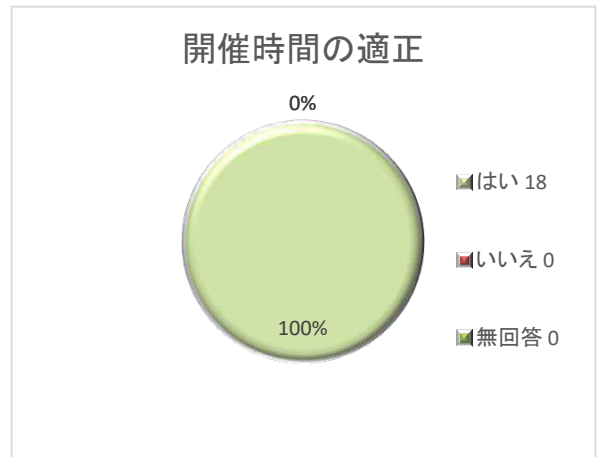
【備考】

- イトーヨーカドー
- 神楽公民館
- あさひばし

問3. 開催時期は適切ですか。



問4. 開催時間は適切ですか。



**問5. 今後希望する講座のテーマをお書きください。**

- 「沈黙の春」の日本での評価
- 古典文学の楽しみ方
- 旭川の歴史
- 川アイヌの歴史・文化について
- 橋本先生（俳句-旭川厚生病院ドクター）
- 原発などエネルギー問題
- 電磁波について（影響）
- 古文学としての源氏物語・平家物語等の講義
- 時事問題、感染症について
- 高齢者の心構え、小泉純一郎（核廃絶について）

**問6. その他ご感想、ご意見、ご要望があればお書き下さい。**

- 田畑が汚染されている現在、元に戻ることは可能でしょうか。(玉ねぎを食べるなら自分で作ることといわれている今)
- 豊かさの裏には何らかの犠牲があるような…。身勝手な考えや行動を改め、環境に配慮した生活を心がけたいと思いました
- 良い話を伺いました。「人間が『地球』という星のなかで自然の一部であることを知ること」をこころして、これから余生を送りたいと思います。ありがとうございました
- 今日の講義は頗る面白く楽しかった。我々は矛盾の統一体の中で生活していることを如実に学びました。開催に携わったスタッフに感謝いたします
- 人間のエゴの話を知っているようでした
- もっとも大事で基本的なことですが、実現されにくい大問題を個々人が一つ一つ実行し広げることか？と思います。今日の講義を広げるようお願いいたします
- たいせつな問題を改めて意識しなければならないと感じました
- ウェルビーイング・コンソーシアムとしてテーマを決めて実践のための研究会を作ってほしい

一般社団法人旭川ウェルビーイング・コンソーシアム  
連携公開講座 2020  
旭川市教育委員会共催  
「あさひかわオープンカレッジ」報告集

2021年3月発行

編集・発行：一般社団法人旭川ウェルビーイング・  
コンソーシアム  
旭川市教育委員会